




DENON
PROFESSIONAL

DN-300H

ユーザー・ガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります（聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください）。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] http://inmusicbrands.jp/denon_pro/

DENON
PROFESSIONAL

＜お問い合わせ＞

inMusic Japan株式会社

カスタマー・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

ユーザ・ガイド

はじめに

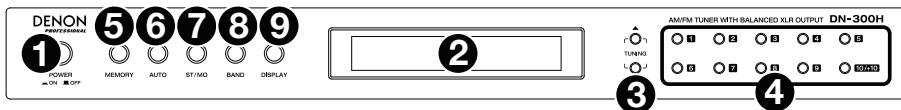
同梱品

- ・ DN-300H
- ・ ラック耳 x 2
- ・ ラックマウントネジ x 6
- ・ FM アンテナ
- ・ AM ループアンテナ
- ・ RCA ケーブル
- ・ リモートコントローラー
- ・ 電源ケーブル
- ・ User Guide (英語)
- ・ Safety & Warranty Manual (英語)

サポート

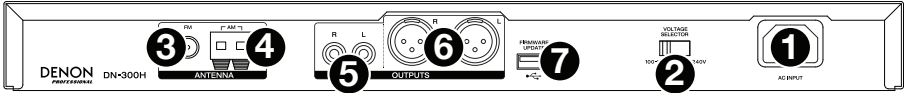
本製品の最新情報（システム要件や互換性情報など）、また修理や操作方法についてのお問い合わせは、DENON Professional の Web ページ (inmusicbrands.jp/denon_pro/) をご覧ください。

フロントパネル



1. **POWER ボタン**：このボタンで本体の電源のオン・オフを切り替えます。
2. **ディスプレイ**：現在の操作など情報を表示します。
3. **TUNING ▲/▼ボタン**：これらのボタンを押すことで、受信周波数を調整します。またボタンを1秒以上押し続けると、クリアに受信可能な次の局を探してジャンプします。
4. **ナンバーボタン (1～10/10+)**：これらのボタンを押すことで、プリセットとして保存してある曲を呼び出すことができます。10より大きなプリセット番号は、例えば、プリセット12を呼び出したい場合は、10/10+ ボタンを押してから、続けて2を押すことで呼び出し可能です。プリセット20の場合は、10/10+ ボタンを二度押します。
5. **MEMORY ボタン**：現在選択されている局をプリセットとして保存するには、このボタンを押してからナンバーボタン(1～10/10+)で保存したいプリセット番号を押し、もう一度このMEMORY ボタンを押します。
6. **AUTO ボタン**：このボタンを押して、オートチューニングかマニュアルチューニングかを切り替えます。ボタンを一度押すと、オートチューニングモードにセットされ、**TUNING** ボタンを押すと自動的にクリアに受信可能な次の局を探してジャンプします。もう一度ボタンを押すとマニュアルチューニングモードになり、**TUNING** ボタンで手動で局を探すことができます。
7. **ST/MO ボタン**：このボタンを押して、ステレオかまたはモノラルかを切り替えます。
STEREO：FMステレオ放送はステレオで受信され、ディスプレイにSTと表示されます。
MONO：FM局の受信状態がよくない場合にこのボタンを押すことで、不要なノイズを減衰させてモノラルで受信できる場合があります。
8. **BAND ボタン**：このボタンを押すことで、FMとAMを切り替えます。
9. **DISPLAY ボタン**：FM受信時、このボタンを押すとディスプレイに操作情報を表示させることができます。

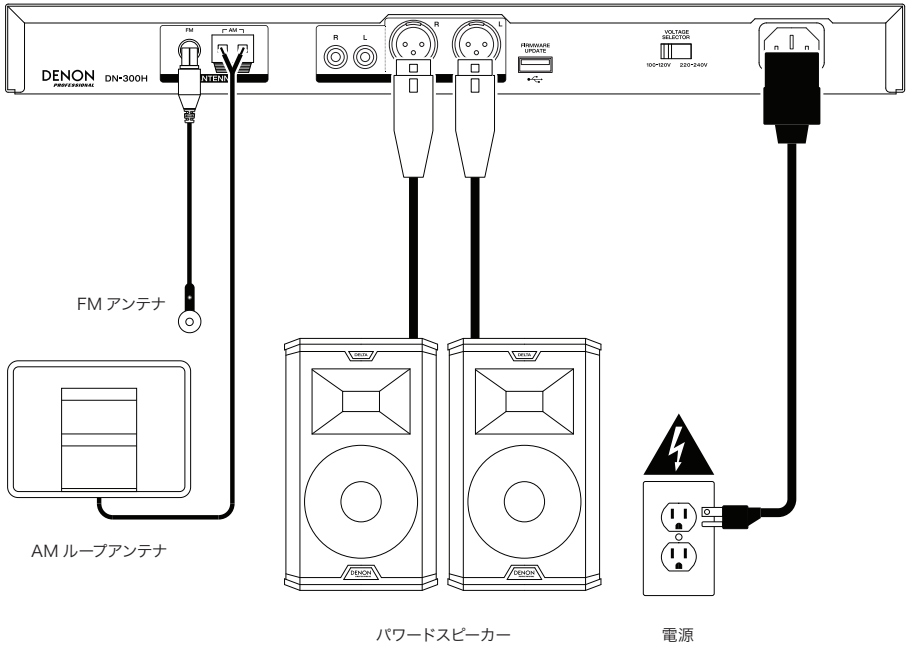
リアパネル



1. **AC INPUT** : 付属の電源ケーブルを接続して、電源を供給します。
2. **VOLTAGE SELECTOR** : 電源電圧の異なる国で使用する場合は、このセレクトターで適切な電圧を選択します。間違った選択をした場合、ユニットが故障する可能性もございますので、ご注意ください。また、設定を変更するには、カバーのネジを外してセレクトターをスライドさせます。
3. **FM アンテナ端子** : 付属の FM アンテナをここに接続します。
4. **AM アンテナ端子** : 付属の AM ループアンテナをここに接続します。後述の接続例をご参照ください。
5. **音声出力端子 (RCA アンバランス)** : これらの端子からラジオ音声を出力します。RCA ケーブルを使用して、外部のスピーカーやサウンドシステムなどに接続します。後述の**接続例**をご参照ください。
6. **音声出力端子 (XLR バランス)** : これらの端子からラジオ音声を出力します。XLR ケーブルを使用して、外部のスピーカーやサウンドシステムなどに接続します。後述の**接続例**をご参照ください。
7. **FIRMWARE UPDATE 端子** : 本体のファームウェアを更新するためにしよする USB 端子です。ファームウェアを更新する際に、隣のスイッチを UPDATE に切り替えます。通常の操作を行う場合は、スイッチを NORMAL にセットしておきます。

接続例

はじめに > 同梱品リストに記載のないものは、別売品です。



セットアップ

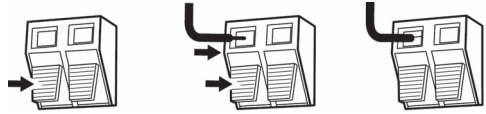
重要：ケーブルはしっかりと正しく（ステレオ・ケーブルは左右のチャンネルを間違わずに）接続し、電源ケーブルとは一緒にまとめないでください。

1. ステレオの RCA ケーブル、または XLR ケーブルで本体の**音声出力端子**と外部のレシーバーやアンプなどのアナログ入力を接続します。ご使用の地域に合わせて**チューナーリージョン**（アメリカ/ヨーロッパ/日本）を設定する必要があります。後述の、**操作 > リモートコントロール**の項目をご参照ください。

注意：本体の電源がオンの場合、このスイッチの設定を変更した後、設定を反映させるには、一度電源をオフにして、もう一度オンにする必要があります。

2. 付属の FM アンテナを **FM アンテナ端子**に接続します。

3. 付属の AM ループアンテナを **AM アンテナ端子**に接続します。AM ループアンテナのリード線が、パネルの金属部分に接触していないことを確認してください（外部 AM アンテナを使用する際でも、AM ループアンテナは外さないでください）。

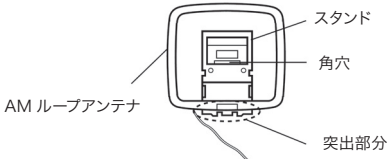


AM アンテナのループを壁に掛ける場合は、釘や画鋲で（アンテナを組み立てずに）壁に固定してください。

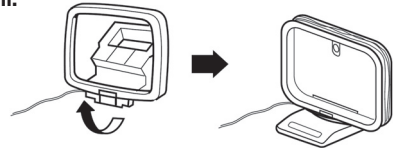
AM アンテナのループを平らなものの上に置く場合は、アンテナを組み立ててください（下図参照）：

- i. スタンド部分をループアンテナの底に後ろから通し、前側に曲げます。
 - ii. 突出部分をスタンドの角穴に差し込みます。
4. すべての接続が終わりましたら、付属の電源ケーブルを接続して電源を入れます。

i.



ii.



リモートコントローラー

1. **ミュートボタン**：このボタンを押して音声出力をミュートします。もう一度ボタンを押すと、ミュートが解除されます。詳しくは、[操作 > ラジオを聞く](#)をご参照ください。
2. **ST/MO ボタン**：このボタンを押して、ステレオかまたはモノラルかを切り替えます。
STEREO：FM ステレオ放送はステレオで受信され、ディスプレイに ST と表示されます。
MONO：FM 局の受信状態がよくない場合にこのボタンを押すことで、不要なノイズを減衰させてモノラルで受信できる場合があります。
3. **PTY (Program Type) サーチボタン**：このボタンを押して、RDS (ラジオ・データ・システム) を利用して、ラジオ局の番組のカテゴリーを検索し、プリセットとして保存することができます。

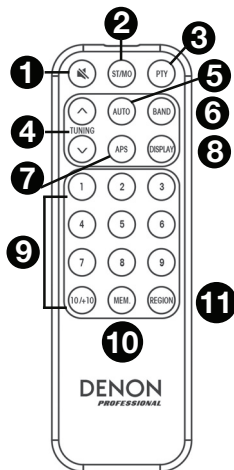
注意：これは FM モードのみに対応します。また、2017 年現在、日本国内の FM ラジオ放送は、RDS を実施していないため、この機能はお使いになれません。

- a. **PTY** ボタンを押します。ディスプレイに「PTY SEL」が点滅表示されます。
- b. **TUNING ^/v** ボタンを押して、Program Type を選びます。選ばれた Program Type が点滅表示されます (例えば、Talk など)。
- c. **PTY** ボタンを押して、決定します。「PTY SRH」と表示され、選んだ Program Type に該当するラジオ局を検索します。

注意：RDS は、VHF 局を介した追加情報の送信システムです。局の名前、番組名、番組のタイプなどがディスプレイに表示されます。これは、放送局が RDS に対応し、受信状態が良好な場合に正しく機能します。2017 年現在、日本国内の FM ラジオ放送は、RDS を実施していないため、この機能はお使いになれません。

4. **TUNING ^/v ボタン**：オートチューニングモードの場合、これらのボタンを押すと、クリアに受信可能な次の局を探してジャンプします。マニュアルチューニングモードの場合は、手で局を探することができます。
5. **AUTO ボタン**：このボタンを押して、オートチューニングかマニュアルチューニングかを切り替えます。ボタンを一度押すと、オートチューニングモードにセットされ、**TUNING** ボタンを押すと自動的にクリアに受信可能な次の局を探してジャンプします。もう一度ボタンを押すとマニュアルチューニングモードになり、**TUNING** ボタンで手で局を探することができます。
6. **BAND ボタン**：このボタンを押すことで、FM と AM を切り替えます。
7. **APS ボタン**：このボタンを押して、自動的に受信可能なラジオ局を探して、プリセットに保存します。まず、RDS を使って局を検索し、その後、他のラジオ局を検索します。

注意：この機能は、既にプリセットとして保存されている局を上書きして保存します。



8. **DISPLAY ボタン**：FM 受信中にこのボタンを押すと、RDS データを受信して様々な情報をディスプレイに表示します。ボタンを一度押すと「PS (Program Service)」、もう一度押すと「PTY (Program Type)」、更にもう一度押すと「CT (Current Time)」、最後に「RT (Radio Text)」と順番に表示します。電波が弱いなど、RDS データを正しく受信できていない場合は、「NO PS」「NO PTY」「NO CT」「NO RT」などと表示されます。
- **PS (Program Service)**：ディスプレイに「PS」と表示されるまで、DISPLAY ボタンを押します。現在のラジオ局の名前が表示されます。
 - **PTY (Program Type)**：ディスプレイに「PTY」と表示されるまで、DISPLAY ボタンを押します。プログラム・タイプが表示されます。
 - **CT (Current Time)**：ディスプレイに「CT」と表示されるまで、DISPLAY ボタンを押します。現在の時刻が表示されます。「WAIT CT」と表示される場合は、ラジオ局から現在時刻を取得中です。**注意**：局が発信している時刻信号ですので、局によって時刻にずれがある場合もあります。
 - **RT (Radio Text)**：ディスプレイに「RT」と表示されるまで、DISPLAY ボタンを押します。局が発信するさまざまなテキスト情報を表示します。
9. **ナンバーボタン (1~10/10+)**：これらのボタンを押すことで、プリセットとして保存してある曲を呼び出すことができます。10 より大きなプリセット番号は、例えば、プリセット 12 を呼び出したい場合は、**10/10+** ボタンを押してから、続けて 2 を押すことで呼び出し可能です。プリセット 20 の場合は、**10/10+** ボタンを二度押します。
10. **MEM. ボタン (MEMORY)**：現在選択されている局をプリセットとして保存するには、このボタンを押してからナンバーボタンで保存したいプリセット番号を押し、もう一度この MEMORY ボタンを押します。詳しくは、**操作 > ラジオを聞く**をご参照ください。
11. **REGION ボタン**：このボタンを押して、ご使用の地域に合わせて TUNING \wedge/v ボタンでチューナーリージョン (アメリカ/ヨーロッパ/日本) を選択し、もう一度 **REGION** ボタンを押して決定します。自動的に本体の電源がオフになりますので、**ミュートボタン**を押すか本体の電源ボタンを二度押しして、電源をオンにすることで、選択したリージョンが反映されます。**注意**：リージョンを変更すると、保存してあるプリセットは上書き (消去) されます。

バッテリーの使い方

重要：リモートコントローラーを最初に使用する時には、バッテリー・コンパートメントから絶縁シートを引き抜いてください。

バッテリーの交換：

1. リモートコントローラーの裏面にある小さな穴にピンを差し込み、バッテリーカバーをスライドして開きます。
2. バッテリー・ケースから使用済みのリチウム・バッテリーを取り出し、(+)の側が図のように見える向きに新しいバッテリーを装着します。
3. バッテリー・ケースを元の位置に戻します。

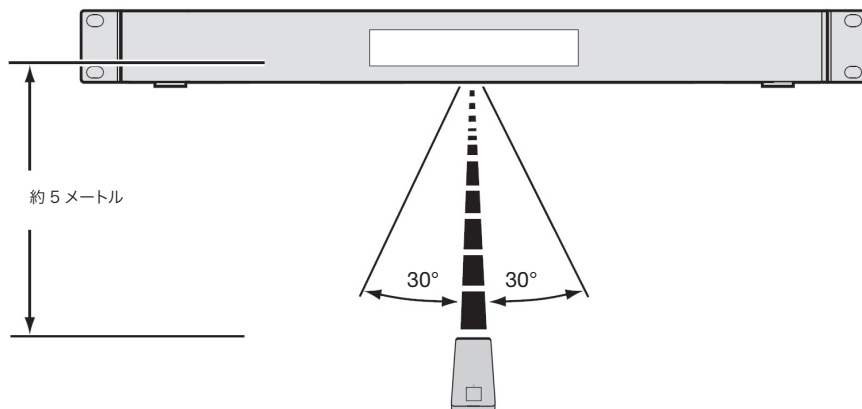
重要：リチウム・バッテリーは使用法を誤ると、発熱や発火、破裂の可能性があります。使用したり交換したりする際には、以下の点に注意してください。

- 同梱のバッテリーは、リモートコントローラーの機能確認用です。
- リチウム・バッテリーは3Vの**CR2032**タイプをご使用ください。
- バッテリーは絶対に充電しないでください。バッテリーを乱暴に扱ったり分解したりしないでください。
- バッテリーを交換する際には、極性の向きが正しくなるように装填してください。
- 高温になる場所や直射日光下にバッテリーを放置しないでください。
- バッテリーは乳幼児の手の届かない場所に保管してください。バッテリーを飲み込んだ場合は、**速やかに**医師に相談してください。
- 電解液が漏れた場合は、速やかにバッテリーを取り出してください。電解液は皮膚や衣服に火傷や焦げを負わせる危険があります。電解液が皮膚や衣服に付着した場合には、速やかに水道水で洗い流し、医師に相談してください。
- バッテリーを廃棄する際には、テープで端子を絶縁してから、廃棄する地域の規則に従って、火の気のない場所に捨ててください。

動作範囲

リモートコントローラーは、機器のセンサーに向けた状態で操作してください。

注意：リモートコントローラーのセンサーに直射日光や強力な照明（インバーター式の蛍光灯など）や赤外灯の光が当たっていると、リモートコントローラーが正常に動作しない場合があります。



ラジオを聞く

ラジオの使用法：

1. 本体の電源がオフの場合は、**POWER** ボタンを押して電源をオンにします。
2. **BAND** ボタンを押して、FM または AM を選択します。ラジオ局の放送音声自動的に再生されます。
重要：FM および AM アンテナが正しく接続され、チューナーリージョンが正しく設定されていることを確認してください。
3. ラジオ局は、本体またはリモートコントローラーの **TUNING** ボタンで選択します。ボタンを 1 秒以上長押しすると、クリアに受信可能な次の局を探してジャンプします。

ラジオ局のプリセット・ナンバーへの保存方法：

1. 好みのラジオ局を選択します。
2. 本体またはリモートコントローラーの **MEMORY** ボタンを押します。
3. 本体またはリモートコントローラーの **ナンバーボタン (1~10/10+)** を押して、好みのプリセット・ナンバーを入力します。
4. もう一度 **MEMORY** ボタンを押してプリセットに保存します。

保存したプリセットを呼び出すには：ナンバーボタンを押して、プリセットとして保存してある曲を呼び出します。10 より大きなプリセット番号は、例えば、プリセット 12 を呼び出したい場合は、**10/10+** ボタンを押してから、続けて 2 を押すことで呼び出し可能です。プリセット 20 の場合は、**10/10+** ボタンを二度押します。

重要：

プリセット・メモリーには FM 局 / AM 局をそれぞれ最大 20 局ずつ保存できます。

ラジオの受信状態がよくない場合は、屋外アンテナの設置をお勧めします。詳細は、本体を購入した販売店にお問い合わせください。

クリアに受信できるように、アンテナの位置や角度を動かして、ノイズ量が最小になる向きに固定してください。

付録**技術仕様**

周波数特性： 40 Hz～12 kHz

ラジオ周波数範囲： (地域切り替え可能)

日本：FM：76～108 MHz / AM：522～1629 kHz

アメリカ：FM：87.5～108 MHz / AM：520～1710 kHz

ヨーロッパ：FM：87.5～108 MHz / AM：522～1629 kHz

FM アンテナ

入力インピーダンス： 75Ω(アンバランス)

端子： XLR ステレオ出力端子 x 1
RCA ステレオ出力端子 x 1
USB 端子 (ファームウェア更新用) x 1
IEC 電源ケーブル端子 x 1

電源： 端子：IEC
入力ボルテージ：100-120 V / 220-240 V、50/60 Hz
消費電力：15W

サイズ： 約 482 x 200 x 43 mm (W x D x H)

重量： 約 2.5kg

商標およびライセンス

Denon は、D&M Holdings Inc., の商標で、米国及びその他の国々で登録されています。

Denon Professional 製品は、inMusic Brands, Inc., によって製造されています。

その他、すべての製品名や会社名、商標またはトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

DENON
PROFESSIONAL

inmusicbrands.jp/denon_pro

Manual Version 1.1